

令和3年2月 10 日

富田林市障がい者施策推進協議会委員 様

富田林市障がい者施策推進協議会事務局
(富田林市障がい福祉課)「第6期富田林市障がい福祉計画・第2期富田林市障がい児福祉計画」最終素案
の審議について(ご依頼)

日頃より、本市福祉行政にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

さて、この度、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の延長を受け、やむなく富田林市障がい者施策推進協議会を书面開催することとなりました。これに伴い、議題であります標記計画最終素案のご審議をいただくに当たりまして、前回(第2回)協議会にていただきました意見等のご紹介、並びにパブリックコメントの実施結果につきまして、以下のとおり説明申し上げますとともに、別紙にて計画の承認につきご意見を賜りますようお願い申し上げます。

1. 協議会委員よりのご意見並びにパブリックコメントへの回答について

第2回協議会でいただいたご意見等(概要)

質問	<p>●9ページ (4)精神障がい者の状況 令和元年度の自立支援医療(精神通院)の受給者 2,145 人に対して、精神障がい者保健福祉手帳の所持者が 1,182 人となっているが、自立支援医療受給者に対して手帳の取得を奨励していないのか。</p> <p>(回答)⇒自立支援医療の受給者であれば障がい福祉サービスの利用も可能となっていることもあり、当該受給者が必ずしも手帳の取得を希望されているわけではないため、ご希望がない限り特に手帳の取得を奨励は致しておりません。</p>
質問	<p>●27ページ 精神病床長期入院患者 ここでいう患者とは富田林市民だけでなく、他市の病院に入院している人も含まれるか。</p> <p>(回答)⇒富田林市に住民票がある長期入院患者数を計上しているため、他市に入院されている方も含まれます。</p>
質問	<p>●29ページ 地域生活支援拠点 富田林市の地域生活支援拠点はどこなのか。</p> <p>(回答)⇒ご質問を受けまして、計画素案に以下の説明書きを加えました。(パブリックコメント前にお届けした素案には既に反映しております。) 「障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能を持つ場所や体制のことで、本市では一つの拠点(施設)ではなく、サービス種別に応じて障がい福祉サービス提供事業者に委託して複数の拠点等(面的整備)により実施しています。」</p>

(つづく)

意見	<p>●49 ページ 共同生活援助(グループホーム) 共同生活援助(グループホーム)の精神障がい者の令和 2 年度計画値が 4 人に対し、実績値が 16 人となっており、利用者が増加しているため事業所の設置について配慮されたい。</p>
意見	<p>●52ページ 計画相談支援 相談支援専門員は知的障がい等の専門知識はあるが、精神障がいの専門知識がない人が多いとの声を聞くのでスキルアップをお願いしたい。</p>
質問	<p>●55ページ (2) 地域生活支援事業 ①必須事業(ア)相談支援事業等の自発的活動支援事業の具体的内容とは (回答)⇒障がい者や家族、地域住民が自発的に行う活動としては、情報交換のできる交流会、孤立防止の見守り活動、ボランティアの養成等があり、本市では基幹相談支援センターが当該活動への助言等の支援を行います。また、自発的活動に繋がるものとしてレクリエーション等活動支援事業を実施しています。</p>
パブリックコメントでいただいたご意見(概要)【2件】	
個人	<p>私は発達障がい者の保護者の親の会を運営しています。ボランティアでペアレント・トレーニングの実施も、ペアレントメンター事業もやっていますが、市のほうから具体的になんのサポートもいただけておりません。全て会員の会費や参加者の参加費で賄って運営していて、利益はゼロです。</p> <p>ペアトレについては、今年度はコロナ対策のため実施を見送りましたが、私たちのペアレント・トレーニングは市の方から案内される参加費の半分の費用で実施していて、ほとんどボランティアで開催しています。事前の面談も丁寧に行っております。行政の方で連携を取っていただけないかとお願いましたが、すでに依頼しているところがあるということで、事業内容について比較検討すらしていただけておりません。また、実際に実施しているペアトレについても、補助金がいくらであるとか、実施計画や、参加人数やアンケート等実績が不透明であると思います。補助金の制度があるのであれば、助成金やプロポーサル方式などで公正に審査し、平等に事業を実施できるよう、不公平感をなくしてほしいと思います。</p> <p>ペアレントメンターの活動も、市の子ども未来室などに話をしましたが、予算がないので何もできないと言われ、何もして頂けておりません。事業の周知とありますけど、事業の周知って具体的にどういうことでしょうか。他市の方からはメンター事業の派遣依頼があり、私たち法人で請け負って活動していますが、富田林からは全くありません。市のホームページに紹介されているところがありますが、それを周知に努めるといっているのであれば、それは取り組みとは言えないと思います。</p> <p>富田林の保護者支援は立ち遅れていると思います。一番懸念するのは、発達障がい者の子どもの保護者の孤立です。そして発達障がい者の親であると言う同じ立場のお母さん達の連携無しに健全な子育ては絶対にできません。そのような機会をバックアップし、市としてしっかりと連携を取ってほしいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(つづく)</p>

	<p>(市の考え方)⇒ペアレントトレーニングに関する補助金につきましては、ご意見も参考にさせていただきながら、関係要綱に基づき今後も公平・公正な交付に努めてまいります。なお、補助金額につきましては、市ウェブサイトにて、交付団体及び交付実績等を公表しております。</p> <p>ペアレントメンターにつきましては、ご意見も踏まえながら、障がい理解の促進を進めるうえで、参考にさせていただきます。</p>
法人	<p>当法人は発達障がい者の保護者の親の会を運営しています。ボランティアでペアレント・トレーニングの実施も、ペアレントメンター事業もやっていますが、市のほうから具体的になんのサポートもいただけておりません。全て会員の会費や参加者の参加費で賄って運営していて、利益はゼロです。</p> <p>ペアトレについては、今年度はコロナ対策のため実施を見送りましたが、私たちのペアレント・トレーニングは市の方から案内される参加費の半分の費用で実施していて、ほとんどボランティアで開催しています。事前の面談も丁寧に行っております。代表は社会福祉士であり、社会福祉士会に在籍し相談援助業務などの研修を重ねておりますし、会員の3名が、ペアレントトレーナー研修を受けています。さらにペアレントメンターの資格を取得しており、同じ保護者としての傾聴の姿勢や共感すること、地域のリソースブックを作成し情報提供できるよう環境調整を行っています。保護者の集まりではありますが、より専門性を高めるべく、日々鍛錬を続けています。</p> <p>ペアトレを実施するにあたり、行政の方で連携を取っていただけないかとお願ひしましたが、すでに依頼しているところがあるということで、事業内容について比較検討すらしていただけてませんでした。また、実際に実施しているペアトレについても、補助金がいくらであるとか、実施計画や、参加人数やアンケート等実績が不透明であると思います。補助金の制度があるのであれば、助成金やプロポーサル方式などで公正に審査し、平等に事業を実施できるよう、不公平感をなくしてほしいと思います。</p> <p>(市の考え方)⇒同上</p>

※実施担当課…ペアレントトレーニング(教育指導室)、ペアレントメンター(こども未来室)

2. 計画の承認について

上記ご説明のとおり、いただきましたご意見を参考にさせていただいた部分はありますが、昨年12月18日にお届けした計画素案には既に反映済みであり、その後に実施したパブリックコメントによる内容や文言の変更・修正はありませんでした。

そのため、事務局といたしましては、当該素案を以て正式に本市計画とするべく、協議会委員の皆様のご承認を賜りたいと考えております。つきましては、この承認についてのご意思の表明をお願いしたいと存じますので、何かとお忙しいところ誠に恐縮ですが、令和3年2月22日までに別紙「意見書」のご提出をお願いいたします。